

令和4年度【前期】助成団体

公益財団法人 金子財団

区分：助成限度額
A：100万、B：50万、C：20万

No.	申請団体名	申請区分	事業内容および助成金の使途	分野	区分	助成額円
1	学校法人 昭和幼稚園・昭和なかよし保育園	継続 R2-4 (3年目)	ICT教育に関わる機器教材の購入および、通信環境の整備費に充当する。	学校	A	2,000,000
2	特定非営利活動法人 市村自然塾九州	継続 R3-5 (2年目)	農業体験活動などを通じ、子どもの健全育成・成長を支援する。創立20周年に当たる周年記念事業映像制作および教材制作費に充当する。	児童	A	1,321,500
3	江北町 みんなの公園	継続 R2-4 (3年目)	江北町の町おこしイベントを実施。イベントに必要な備品(椅子・パラソル等)購入に充てる。	文化	B	300,000
1	佐賀市立嘉瀬小学校	単年	地域の教育ボランティアとバルーン離陸観覧のイベントを実施。バルーン燃料費に充当する。	学校	C	120,000
2	唐津看護専門学校	単年	令和4年度から新カリキュラムとなる技術演習に必要な器具の整備事業を行う。器具教材の購入に充当する。	学校	A	698,000
3	西九州大学短期大学部 幼児保育学科 春原ゼミ	単年	短大生が保育の専門性を活かし、小学生を対象とした地域参加型のワークショップを開催。アート泥団子をつくる。教材や広告の費用に充当する。	学校	B	420,750
4	佐賀大学 肥前セラミック研究センター (ARITA×SOGETSU)	継続	花器の開発、展覧会、動画制作・公開、花器の発表会を実施。華道家の旅費・謝金、材料・会場・広報費、動画制作費に充当する。	学校	A	852,000
5	佐賀県中学校教育研究会 造形部会専門部会 (伊万里市立青嶺中学校)	単年	佐賀県中学校美術部の生徒を対象にスケッチ大会や実技講習会など実施。大会に係る材料やポスター制作費に充当する。	学校	C	195,000
6	波多津町青少年育成町民会議	単年	子どもたちが集団野営生活を通じて自己肯定感を育み成長し合えるキャンプ事業を実施。集団野営に必要な備品用具の購入に充当する。	児童	B	500,000
7	NPO法人伊万里湾小型船安全協会	単年	小中学生を対象に海上のゴミを取る清掃活動。今年で15年目。海カメが好物のクラゲと間違えてレジ袋を食べて死んでしまうなどの環境保全も学ぶ。清掃活動に必要な舟艇借用に充当する。	児童	B	375,000
8	NPO法人 poco a bocca (ポコ ア ボッコ)	単年	妊娠期の夫婦が新生児のお世話体験、不安ごとなどを助産師に相談できる両親学級を開催。広報費、保育サポート費等に充てる。	児童	C	72,000
9	スタディーサポートgreenbook (グリーンブック)	単年	生活困窮家庭環境や不登校問題を抱える中高生を対象に学習支援を滞京。教材および文具費に充当する。	児童	B	311,400
10	NPO法人 ただいま	単年	県内小学生を対象に、佐賀県の偉人の言葉や姿を、合宿イベントを通じて学ぶ。学生ボランティア参画。広報物作成および消耗品等に充当する。	児童	C	200,000
11	CoderDojoさが (コーダードウジョウ)	単年 (2回目)	子どもたちのプログラミング学習を実施。開催費に充当する。	児童	C	100,000
12	一般社団法人 ディーセントワーク・ライフプランプロデュース協会	単年 (2回目)	子どもたちの健全育成に関わる幅広い知識について親子で学ぶ教室を実施。開催費に充当する。	児童	C	200,000
13	NPO法人 Wed(ウェド)	単年 (2回目)	清掃活動や居場所カフェ運営などの自主プロジェクトを実践している高校生め、各プロジェクトの報告会を行う。開催費に充当する。	児童	B	339,000
14	佐賀みやきひよっこ会	単年	近隣の幼稚園や保育園児、小学生にひよっこ踊りや縁日イベントを実施。用具保管庫およびテントの購入に充当する。	文化	C	200,000
15	COOL BEAT DANCE SCHOOL (クール・ビート・ダンス・スクール)	単年	子どもたちにダンスショーや縁日を楽しんでもらうイベントを実施。景品、備品、広告宣伝費等に充当する。	文化	C	200,000
16	唐津みなと松原の会	単年	松原の再生プロジェクトとして唐津市民ボランティアとともに草刈りや植樹等の活動を実施。今回、みなと松原植樹祭の開催にともない、植樹苗および広報費に充当する。	文化	C	200,000
17	和太鼓竜童	単年 (2回目)	昨年より、練習場所の増設にともない、入会する子どもたちが増えたため、太鼓を増やしたい。和太鼓購入に充当する。	文化	B	500,000
18	kenakian2022 プロジェクト実行委員会	単年 (2回目)	国内外からアーティストを招聘し、滞在生活や現地制作、トークショーや展覧会を実施する。招聘アーティストの謝金に充当する。	文化	B	500,000
合計						9,604,650

令和4年度【後期】助成団体

No.	申請団体名	申請区分	事業内容および助成金の使途	分野	区分	助成額円
19	みらいプロジェクト	継続3	会社の従業員のお子さんがお父さん・お母さんの働く姿を見学する取り組み。今年は作文の朗読を行うお仕事参観デー発表会をオンライン配信します。助成金はオンラインコミュニケーションツール、周年事業を見据えた記録ツール購入に充てます	児童	A	1,000,000
20	鳥栖小学校ドローンプログラミング事業	単	子供たちにドローンとスクラッチプログラミングソフトを使用し、プログラミング的思考を学びながらドローンを計画通りに飛行させる事が出来るか挑戦してもらう。教育用ドローンのレンタルに助成金を活用予定	学校	B	260,000
21	学校法人星生学園（高等専修学校）	単	この学校は3年間で大学入学資格付与指定高①定期的な福祉施設慰問②農業体験のための農家送迎③手話部のボランティア活動の送迎に使う送迎車の購入	児童	A	1,000,000
22	鏡小学校(みんなの科学広場実行委員会)	単	地域の教育機関及び大学等研究機関、地域産業、行政が連携協働し、科学イベント「みんなの科学広場in唐津」を開催する。	学校	C	200,000
23	西九州大学健康栄養学部	単	調理中の科学現象を通して、子どもたちに科学の楽しさや面白さを伝え、好奇心や探究心を育むことができるイベントを実施する。このイベントを通して、“STEAM教育”と呼ばれる教科横断的な学びを提供する。	学校	C	200,000
24	学校法人 江楠学園	単	部活動並びに生徒間の移動及びボランティア活動時における移動等に利用するためスクールバスの購入費用への助成	学校	A	1,000,000
25	佐賀県立大和特別支援学校	単	作業学習において必要となる備品(カラーレーザープリンタ)を整備することにより、生徒個々の能力・個性の伸長と職業教育の充実を図る。	学校	C	150,000
26	佐賀県立金立特別支援学校	単	肢体不自由児の児童生徒が使う介護リフトつるペー購入資金への助成申請	学校	B	400,000
27	社会福祉法人おひさまこども園	単	弊園では、「お茶の時間」を通して、幼児が茶道に触れることによって日本の文化を伝承し、また、茶道の文化を通して地域の方と繋がる機会と場を提供することを目的とする。助成金は茶道具一式の購入に充てる	学校	B	500,000
28	佐賀大学芸術地域デザイン学部 SAGA ART WEEK 2023 実行委員会	単	大学の授業の一環として計画されているイベントで、佐賀大学の卒業制作展の時期に合わせて開催する。期間中に佐賀市内の各地で開催されている展覧会などをアートフェスティバルとして取りまとめる。助成金は、webページの維持費や、冊子、チラシ、ポスター等の製作費に充てられる。	学校	C	150,000
29	NPO法人とす市民活動ネットワーク	単	子供たちに木工体験を通して、木のぬくもりや香りを感じるなど木とかかわりながら様々な人たちと楽しさやうれしさを共感することで心豊かな子供たちを育てていくことを目的とします	児童	B	439,530
30	NPO法人ベースボールアスリート	単	野球の投球障害予防のためのおよび基礎トレーニングの正しい知識とやり方を学ぶための講座を開講するための道具（軟式用ボール、バランスクッション等）の購入費用	児童	C	100,000
31	NPO法人鳥栖子どもミュージカル	単	20周年記念公演として、卒業生も参加します。助成金の使途は会場費、音響器具、大道具の製作に使います。	児童	C	200,000
32	NPO法人 KARATSU CLUB	単 (2回目)	「地域のアウトドアクラブ」や「地元の高校生の団体」と連携し、地元の中学生・高校生に唐津の海でSUP活動を通して、唐津の魅力を再認識してもらい、将来の唐津で活躍する人材の育成を目指しています。その為のSUPの購入	児童	C	200,000
33	東光会	単 (2回目)	佐賀の美術団体、緑光会(一般社団法人東光会佐賀支部)では、毎年親子スケッチ会を行っており、今年で43回目を迎えます。佐賀県立美術館周辺にて実施している事業です。本事業では公募形式で実施することとしました。。	児童	C	130,000
34	唐津日本フィル	単	日本フィルハーモニー交響楽団 第48回九州公演 唐津演奏会の中で、児童・生徒をコンサートに招待して、ケネプロ(本番前の練習)を公開して、指導員や学員から楽器の説明などしてもらい機会を設け、その後本公演を鑑賞してもらう計画です。助成金の使途は児童・生徒の招待費用等に充てます。	児童	C	200,000
35	NPO法人きやんどるハート	単	生まれたばかりの赤ちゃんを対象に、本物の音楽を聴くことにより「潜在的な基礎能力」の発達を促すことを目的とし、ふれあいコンサートを開催しますその為の経費の助成を申請します	児童	B	500,000
36	さが昔話の会	単 (4回目)	児童養護施設「洗心寮」の子供たちと職員に向けての「正しい耳かき」の指導と耳かきの前後にシンガーによる歌で「きれいな音」を体感させる。またクリスマスソングを合唱LK-POPのダンス韓国語の指導する。開催費用への助成	児童	C	100,000
37	岳の棚田保存協議会	単	岳の棚田の住民と佐賀大学、有田工業が交流・協業し参加メンバーはひまわり迷路の作成、お正月飾りのワークショップのイベント開催への関わりを通して地域の課題や良さを知ることを目指しています。活動経費への助成申請	児童	C	200,000
38	NPO法人ブリッジフォースマイル	継続 4	児童養護施設を退所後に人生を主体的に築き上げるために支援することを目的としたプロジェクトで、巣立ちプロジェクト、自立ナビゲーション、退所後すぐ成人式を迎える若者たちを対象に振袖イベントをおこなう。今年は巣立ちプロジェクトの中で、施設退所後の生活の必需品プレゼントに対する助成	児童	C	200,000

No.	申請団体名	申請区分	事業内容および助成金の使途	分野	区分	助成額円
39	佐賀県図工美術研究会	単	本展はコンクール形式ではなく、多くの方にみてもらう趣旨で、子どもたちの感性豊かな作品をすべて展示している。この展覧会は、毎年佐賀県内のすべての小中学校、特別支援学校に出品を呼びかける。助成金は運営費に充てる	児童	C	180,000
40	佐賀県里親会	単年 (3回目)	里親制度は、様々な事情で親元で暮らせない子供たちを家庭環境で養育する制度であり、家庭での生活を通し、子どもが成長するうえで極めて重要な特定の大人との愛着関係の中で養育を行う事により、子どもの健全な育成を図ります。助成金は里親同士のオンライン会議の費用に充当	児童	A	1,000,000
41	一般社団法人 あまね	単	理学療法士の指導の下、障害児が①腹臥位（ふくがいい）になり楽な呼吸ができるクッションの購入②おもちゃ電化製品を動かすスイッチを購入する	福祉	B	219,773
42	特定非営利活動法人オレンジ	単	佐賀市にて一般就労に不安がある方や様々な障がいを持たれた方が適所され、菓子製造（ワッフル、ポップコーン）などの様々な活動に取り組まれています。今回、ワッフルメーカー購入の申請をいたしました。	福祉	C	200,000
43	一般社団法人ユニバーサル人材開発研究所	単	発達障害の診断まで数カ月先という状況の中、適切な支援を受けられていない当事者（小中高生）と不安な気持ちのままの保護者に『診断前支援』で、適切な支援を受けられるようにする仕組みを佐賀に構築する。 助成金は審査キット（WISC/WAIS）の購入、専門家の育成、希望者の検査のために活用する。	児童	B	500,000
44	放課後等デイサービス studio UNco. (スタジオ アンカンパニー)	単	当事業所と、障がいのある児童と、地域の住民の方々とで、準備の段階から一緒に作っていくコンサートの開催。助成金の使途はコンサートの備品購入	福祉	B	500,000
45	さが県民「第九」公演実行委員会	単	第26回さが県民「第九」公演の前座に県内の幼稚園生を招待して、オーケストラと合唱をする	文化	C	200,000
46	佐賀大学演劇さーくる「らんば」	単	学生自ら企画・運営を行なう演劇と美術展示と音楽の融合学生演劇集団「らんば」による演劇の公演で使用する小道具や衣装など美術を学生団体が手がけ、佐賀大学教育学部生が音楽を担当する。助成金を製作費に当てる	文化	C	200,000
47	伊万里ミントカレッジ (伊万里市図書館)	単 (2回目)	「ウィキペディア推進セミナー」と「森羅万象セミナー」の経費に対する助成申請	文化	C	200,000
			後期助成金実績			10,329,303
			令和4年度助成金実績			19,933,953